

JPACS/ePHDS 勉強会開催案内

IHE-XDS(医療情報連携基盤)をめぐる最近の動向

----- 日米の政策、クラウド技術、広域な連携、健診について -----

日本 PACS 研究会/ePHDS 委員会

内閣官房のIT戦略本部から「どこでもMY病院」や「シームレスな地域連携医療」構想が出されタスクフォースによる検討や経済産業省の「医療情報化促進事業」が始まっている。JPACS 研究会の ePHDS 委員会と日本 IHE 協会 ITI 委員会 XDS-WG の合同委員会は、これらを視野に IHE による地域医療連携情報システム構築についての検討を進めて来ました。2010 年度には XDS (医療情報連携基盤) が、我が国の現状、各省のガイドライン制定およびクラウドの展開の中で、どのように応用可能であるかについて検討を行いました。

本勉強会では、その結果に基づき、我が国や米国の最近の政策を踏まえ、医療機関間の連携、患者を含めた連携、さらに連携システムを含む広域の連携体制などの在り方、それらを実現するための IHE 統合プロファイル、医療連携クラウド実現の可能性、それを規定するガイドラインについての問題点を抽出し、解説することとしました。最後に健診分野への IHE 活動の展開についても提案させていただきます。

本委員会では、今回の勉強会で皆様方からのご意見を踏まえ、継続して問題点を抽出し、地域医療連携情報システム構築のためのソリューションづくりを進めていきたいと考えております。

日 時： 2011 年 6 月 29 日 (水曜日) 13:00-16:30 (12:30 受付開始)

場 所： フクダ電子(株) 本郷事業所 本郷新館 1F (<http://www.fukuda.co.jp/company/map.html>)

No.	時間	タイトル	(分)	講師
1	13:00	我が国の「新たな情報通信技術戦略構想」と IHE との関わり	25	保健医療福祉情報安全管理 適合性評価協会(HISPRO) 理事長 喜多 紘一
	13:25	Q&A	5	
2	13:30	米国での最新の NHIN (国家医療情報ネットワーク) 構想	25	株式会社管理工学研究所 研究員 大林 正晴
	13:55	Q&A	5	
3	14:00	NIST(米国国立標準技術研究所)のクラウド定義と保健医療分野での活用	25	株式会社エム・ピー・オー 代表取締役 森口 修逸
	14:25	Q&A	5	
	14:30	休 憩	15	
4	14:45	クラウドを医療連携システムとして利用する場合のガイドラインの捉え方	25	財団法人理工学振興会 研究員 野津 勤
	15:10	Q&A	5	
5	15:15	最新の IHE ソリューションによる広域の連携システムの構築可能性について	25	京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科 教授 細羽 実
	15:40	Q&A	5	
6	15:45	健診・健康管理分野への IHE 活動の展開	40	株式会社エム・ピー・オー 代表取締役 森口 修逸
	16:25	Q&A	5	

参加費：	日本 PACS 研究会会員企業	¥3,000- (資料代)
	大学、医療機関関係者 (要 ID)	¥4,000- (資料代込み)
	会員以外 (企業)	¥10,000- (資料代込み)

参加方法：下記の事務局宛に (参加者氏名・所属・e-mail アドレス) をご連絡下さい。

事務局：jpacs@quantum-inc.jp (締切り：2011 年 6 月 22 日 12:00)

なお、客席数(60名)に限りがありますので、満員となった場合は、受付を終了いたします。

日本医療情報学会医療情報技師ポイント(予定)：参加者に1ポイント付与。当日「受講証明書」を発行します。

お問合せ先：日本 PACS 研究会事務局

TEL: 03-5684-1636 FAX: 03-5684-1650 E-mail: jpacs@quantum-inc.jp

* 写真・ビデオ撮影は事務局・講演者の許諾がある場合を除いて禁止致します。